

分科会②

ライブ小中高生向け SST

佐藤 史教 岩手県立大学看護学部

本学看護学部精神看護学教育研究分野では、2016年から「小中高生向け SST」を実施している。小中高生向け SST の対象は県内在住の小中高生であり、SST を希望する子どもが自由に参加できるように疾患の有無は問わないオープングループで行っている。県内の小児科や精神科の病院にポスターを掲示していることから、参加者の 6 割程度が自閉スペクトラム症や ADHD などの診断を受けている。

小中高生向け SST では、友達や家族との付き合い方など対人技能の向上を目的とし、小中高の 3 クラスを各 60 分で実施している。進め方は、まずウォーミングアップでフルーツバスケットや自己紹介を行った後、原則、基本訓練モデルに基づく SST を行っている。子どもたちの挙げた内容によっては心理教育的に情報提供を行った後、グループディスカッションを行い、解決策等を考えることもある。

多動や注意力が維持できない子どももいるため、本学の学生団体 HOSSTY と一緒に実施しており、学生がロールプレイの相手役やゲームの補助を行っている。

本分科会では、普段、小中高生向け SST に参加している子どもたちに協力してもらい、小中高生向け SST の実際をご覧いただきたいと考えている。その後、ご参加いただいた皆さんと意見交換をさせていただきたいと考えている。